



【テーマ聖句】

「だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。」（コリント人への第二の手紙 5 章 17 節 口語訳）

2021年1月13日(水)

信仰への道

イエスが最初の奇跡を行われたのは、カナの婚宴であったことを思い出してください。イエスの母マリアが召使いに言いました。「このかたが、あなたがたに言いつけることは、なんでもして下さい。」（ヨハネによる福音書 2 章 5 節 口語訳）この言葉によって、マリアは召使いの心にイエスに対する信頼を起こさせたのです。主が召使いたちに、水がめに水をいっぱいに入れるように指示した時、彼らはイエスの指示通りにしました。そしてイエスは言われたのです。「さあ、それをくんで宴会の世話役のところへ持って行きなさい。」（8 節）ここでも彼らはイエスの要求に従いました。その要求があまりにも「常識はずれ」だったにもかかわらずです。その結果、彼らは奇跡の目撃者となりました。それぞれの段階を見てみましょう。

- 1、彼女の指示によって、マリアは召使いの心に「**イエスに対する信頼**」を起こさせました
- 2、召使いたちは、イエスが言ったことを行うことによって、彼に対する信頼を表しました。
言い換えるなら、彼らは奇跡が起こる前の「**準備の道**」を開いたことになります
- 3、そして「**奇跡は、イエスお一人が行われました**」

召使いたちは、水をワインに変える働きをなにもしていません。しかし、彼らがもし準備の道を開かなかったとしたら奇跡は行われたでしょうか？ これが、従順な信仰がどのように働くかという良い例です。私たちはイエスを信頼することを選び、私たちの意志をイエスに委ねることで、従順な信仰という道を開くのです。しかし、覚えておかなければならないのは、奇跡を行われるのはイエスただ一人である、という事実です。

どのように働くか？

使徒パウロは、明らかな目的のために「秘められていたこと」が私たちの内に啓示された、と説明しています。その目的は、従順な信仰へと導くためでした。（ローマの信徒への手紙 16 章 25～27 節を参照）この「秘められたこと」とは何でしょうか？ コロサイの信徒への手紙 1 章 27 節によれば、それは「あなたがたの内におられるキリスト」です。そして、従順な信仰がキリストにあって造りだされたときに、どんな結果が起きるのでしょうか？「だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。」（コリント人への第二の手紙 5 章 17 節 口語訳）私たちは、私たちの中で生き活動しておられるキリストを通して「新しい命」を持っているのです。私たちは「新しく造られた者」なのです！

「私たちの内にキリスト」を持っているとき、主の戒めに対する私たちの態度が変わります。「その命令は重荷とはなりません。」（ヨハネの手紙 1 5 章 3 節）イエスは、「わたしの軛は負いやすく」とおっしゃいました。（マタイによる福音書 11 章 30 節）「わたしはあなたの戒めを愛し／それを楽しみます。」なぜなら、それらは「幾千の金銀にまさる」からであり、「わたしの口に蜜よりも甘い」からです。（詩編 119 編 47、72、103 節）「あなたの律法を愛する人には豊かな平和があります。」（詩編 119 編 165 節）従順な信仰は喜びの基となります。なぜなら神は、愛による最高の戒めだけを私たちにお与えになったからです。

従順であることは重要ですが、それが救いを勝ち取るわけではありませんし、まして私たち自身のよい行いによって救われるわけでもありません。エレン・G・ホワイトは次のように言いました。「律法を守ることに於いて、自分自身の行いによって天に届こうとする人は、不可能を試みているのです。人は、従順

なくして救われることはできません。しかし、彼の行いは自分自身から出たものであってはなりません。キリストが人の内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのでなければなりません。」(『信仰と行い』 110 ページ)

次の三つの点に注目することは重要なことです。

- 1、自分自身の行いによって、天に届こうとするのは不可能なことです。神から何かを買い取ろうとすることはすべて無駄なことです
- 2、イエスに従う者たちは、主の御心に調和して生きるように召されているので、主と共に生きるために、「従順」は欠かせないものです
- 3、従順は私たち自身の働きではなく、私たちの内にあってキリストがなしとげてくださる奇跡です

私たちはどの部分を担うのか？

もう一度確認します。私たちは、救いのために何ひとつできませんが、神は、人間の自由意志を尊重し、私たちに選択の自由を与えておられます。エレン・G・ホワイトによれば「主は、神の力が、人間の努力と協力するよう計画なさった」のです。(『あなたがたは、力を受ける』 10 ページ 英文) これはどのような意味でしょうか？

1、私たちは、信頼します

私たちの中で「御心のままに望ませ、行わせておられる」ように働かれるイエスへの信頼を育てることを選びます。(フィリピの信徒への手紙 2 章 13 節) 彼は、喜んで従う態度を私たちの中に創造し、私たちが行う必要のあることを示してください。

2、私たちは、決断します

私たちは、神の御心を行うことを選ばなければなりません。主は、私たちの個性と意志を完全に尊重されるので、私たちが決断したときにのみ介入されるのです。主は、私たちの決断を待っておられます。

3、私たちは、従順に従う準備をします

私たちは、大きなものであっても小さなものであっても、従順の段階において決断を表さなければなりません。

4、神のみ

神のみが、救いの極めて重要な働きを行われます。

覚えていてください。私たちの側ですること、すなわち—信頼する、決断する、従順に従う準備をする—ことでさえ、聖霊を通してキリストが私たちの内に住まわれるときに、神の力によってなしとげられることなのです。従順に従うことは、すべての喜びの基となります。

【神の御言葉によって祈る】

従順は、私たちが神の愛を完全に経験できるようにします

「わたしの掟を受け入れ、それを守る人は、わたしを愛する者である。わたしを愛する人は、わたしの父に愛される。わたしもその人を愛して、その人にわたし自身を現す。」

(ヨハネによる福音書 14 章 21 節)

主よ、最善の命をどのように得られるのかを教えてください、感謝します。私たちがあなたの戒めと愛を拒むときには、どうぞ赦してください。あなたに完全に信頼し、私たちの心のすべてをあなたに委ねることができるように導いてください。

神は、私たちが従順に従うことを求めるときに喜ばれます。

「ですから、あなたの僕に従順な心を与えてください。…主は、喜ばれた。…私は、あなたの御言葉によって行います。」（列王記上 3 章 9、10、12 節 ルター訳）

主よ、私たちに従順に従う心を与えてください。私たちが理解できないときにも、あなたの導きと原則に完全に信頼できるように助けてください。重荷としてではなく、喜びとして、聖霊の力によって私たちの内に従順に従う心を造りだしてください。

【更なる祈りの提案】

感謝と讃美： 具体的な祝福を感謝し、神の憐れみのゆえに讃美をささげましょう。

告白： 個人的な告白のために時間を取り、神の赦しのゆえに感謝をささげましょう。

願い： 私のチャレンジと決心のために、神様が知恵を与えてくださるよう祈りましょう。

教会のために： 私たちの教会、地域の教会、世界中の教会の働きを神様が祝福してくださるよう祈りましょう。

人々の必要のために： 教会員、家族、隣人の必要のために祈りましょう。

静かに耳を傾け、

応答しましょう： 神のみ声を聞くために静かな時間を過ごし、讃美と歌で応答しましょう。